

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

決算相場到来！ 個別物色が主戦場に！



先週は、中国の利上げ実施と米ベージュブック公開による金融緩和期待を背景に神経質な展開となったが、G20通過やヤフー(4689)▼、KDDI(9433)▼ら主要企業の業績開示を皮切りに、市場関係者の注目も全体相場の動きではなく、決算に着目した物色が中心となりつつある。

前回の当欄でも「決算発表を見越して『業績注視』の姿勢を深めていくだろう」と記していたが、安易に全体観を傾けるよりも業績変動で短期的な値幅を取るチャンスの生まれた「個別物色」に徹する局面であることは明らかだ。

とはいえ、為替相場の円高基調など「先行きの見通し」に対して慎重な企業も多く、実際の決算で明らかになった「企業実態を見極めたい」との意識が強い状況だ。弊社では「秋の決算発表で狙える『超好業績株』のレポート」の販売を行ったが、事前に仕込んで決算期待に乗り、発表後も評価が継続するような「超」が付くほどの好業績銘柄『超好業績株』に狙いを絞るべきだろう。

「企業実態を見極めたい」との意識が強いということは、開示直後の短期デイトリングも利益機会となり得る。証券デイトラーとして経験をまとめた「トップデイトラー育成プログラム」を提供。デイトレードなど短期投資に興味がある方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。